

日本におけるデジタル化の状況

G585112025 海川 啄実

2025 年 6 月 30 日

1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力のランキングは図 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、準備分野で 27 位となっている。

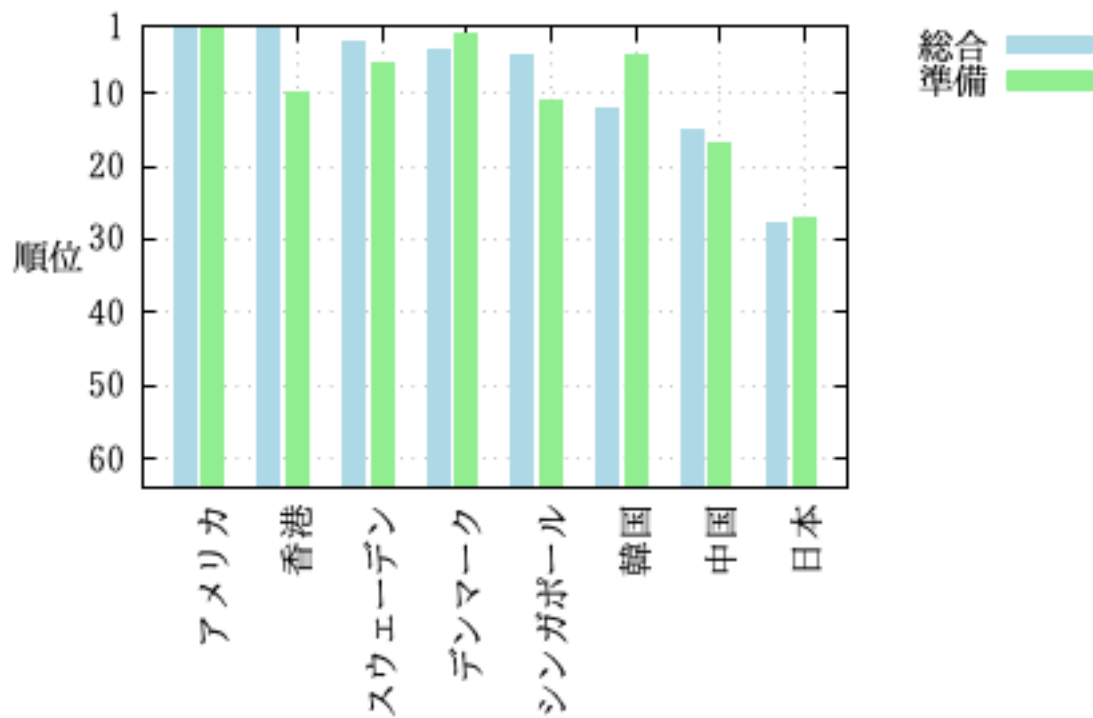


図 1: デジタル競争力ランキング (64 カ国中)

2 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人当たりの光ファイバー回線の加入者は 29.0 で、韓国、スウェーデン、ノルウェーに続いて第 4 位になっている。

表 1: 光ファイバー回線の加入者数 (100 人あたり)

順位	国名	加入者数
1 位	韓国	38.2
2 位	スウェーデン	31.9
3 位	ノルウェー	29.5
4 位	日本	29.0
5 位	アイスランド	28.8
6 位	スペイン	27.3
7 位	ポルトガル	25.1
8 位	ニュージーランド	23.6
9 位	リトアニア	22.3
10 位	フランス	21.2

表 2: 加入者数上位 10 カ国

3 考察

- 日本はブロードバンドの整備において世界でも上位に位置しており、物理的なインフラ環境は非常に整っている。一方で、デジタル競争力ランキングでは中位にとどまっており、デジタル化の「質」や「活用」の面で課題があることを示している。
- デジタル競争力を構成する要素には、技術的な準備だけでなく、人材育成、組織の適応力、政策の柔軟性、データ活用の推進などが含まれる。インフラの整備だけでは十分でなく、こうしたソフト面の改革が必要である。

参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.